

# 令和5年度事業計画

## 概要

日本の総人口は、令和4年8月1日現在、1億2477万人となり、前年に比べ53万人強減少している一方で、高齢者人口は3,627万人で前年と比べて6万人増加し、最多になりました。総人口に占める割合は29.1%に達し、令和17年には33.4%になると見込まれています。

安来市の状況を見ると、令和4年12月の高齢者人口は13,644人で、高齢化率は37.5%になっており、国の令和17年予測を上回っています。

今後、医療保険や年金等の支払いが増大し、これを支える1人ひとりの負担が大きくなり、このことは、社会保障制度に与える影響が懸念されているところです。

このような状況下において、高齢者が長年培ってきた知識や技能・経験を活かして、地域社会でいきいきと活躍し活力ある地域社会づくりに貢献することが強く求められており、シルバー人材センター事業の役割はさらに重要になってきています。

令和4年度の業績は、会員の協力がありましたが、前年度を下回る実績となりました。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の収束による企業の生産や観光、それに個人消費などさまざまな社会経済活動が正常化していくと見込まれ、このような好循環が続けば、コロナ前の水準が期待され、当センターの受注にもよりよい影響が見込まれるため、昨年度を上回る業績を目指します。

会員拡大については、全シ協の第2次会員100万人達成計画は、平成30年度から令和6年度の7年間で取り組むこととされていますが、70歳までの就労確保等により、会員数が伸び悩んでいることから、当面の間は、令和元年度の会員数に回復することを目標として取り組むこととされています。難しい局面にありますが、積極的に会員拡大を行う必要があります。

令和5年10月からは、適格請求書等保存方式（インボイス制度）導入により、新たな対応が必要になります。

以上のことにより、入会者が高齢化することが懸念されますが、引き続き行政機関・関係諸団体及び県連合会との連携を緊密にし、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員・役員・職員が三位一体となって、地域社会から信頼される公益社団法人を目指します。会員の拡大と会員の自主活動の体制整備、安全就業及び適正就業に努め、シルバー派遣事業に力を入れるとともに、普及啓発活動、独自事業等の強化・拡大をするため、次の事業に取り組みま

す。さらに、当センターの拡大・安定を図るため、公共事業の受注を推進していきます。  
事業実施計画

## 1. 組織の目標値

項目	令和5年度目標	令和4年度目標
会員数	313名（粗入会率1.96%）	313名（粗入会率1.85%）
就業実人員	280名（就業率85.0%）	275名（就業率85.0%）
就業延人員	14,000人日	14,000人日
受注件数	1,500件	1,400件
契約金額	75,000,000円	74,300,000円
派遣就業実人員	75名	75名
派遣就業延人員	5,400人日	5,000人日
派遣件数	70件	60件
派遣契約金額	25,000,000円	20,000,000円

## 2. 就業機会の開拓

高齢者の長年培ってきた知識・経験をもって、地域社会に貢献するために、一般家庭・企業・公共団体等に対し、会員の能力と希望に適した就業の機会の確保を行います。

(1) 会員が中心となり、チラシや口コミで開拓します。（1会員1受注開拓）

(2) センターで作成した広報紙を活用します。

(3) 近隣のシルバー人材センターと情報交換し、就業機会を増やせるように取り組みます。

(4) シルバー派遣事業については、高齢化や労働力人口の減少が進行する中、多くの業種における人手不足分野や保育及び介護等の分野において、シルバー派遣事業の着実な拡大を通じて、適正な雇用の場を拡げます。

(5) 安来市が推進する子育て・介護・環境等の分野で、連携ができるものについて事業を推進します。

### 3. 会員数の拡大と技能向上

高齢者の豊かな知識と経験を活かすために、シルバー事業について正しく理解をして貰い、会員拡大を行います。

- (1) 組織の積極的な活動及び広報の活用により、新会員の募集を行い、働く意欲のある会員の加入を呼びかけます。
- (2) 会員による入会の勧誘及び広報を推進します。（目標 1 会員 1 名勧誘）
- (3) 役員による入会の勧誘を推進します。
- (4) 入会希望者を対象にした説明会を毎月第 3 火曜日に開催します。
- (5) 女性会員数の増加を図るためにクッキング同好会等と協力していきます。

### 4. 安全・適正就業の推進

#### (1) 安全就業の徹底

「安全・安心なシルバー事業」が実施できるよう会員に呼びかけ、組織を挙げて安全対策の推進を図り、事故の撲滅を心掛け、会員同士で注意喚起して就業します。そのために、就業前の安全点検の徹底を図ります。

#### (2) 適正就業の推進

令和 5 年 4 月から適正就業に関する規程を施行し、適正就業委員会を設置し、シルバー人材センターの適正就業ガイドラインに基づき、「臨時的かつ短期的または軽易な業務」の明確化・受注の適正化の徹底を図ります。長期間の継続就業をしている会員の交代を図ります。

#### (3) 就業開拓活動

シルバー派遣事業に力を入れるため、就業機会開拓員を配置し、就業開拓を行うため事業所等を訪問し、就業機会の拡大に努めます。

- (4) 安全就業に関する研修会を実施します。
- (5) 適正就業委員会の活動を活発なものにします。

#### (6) 会員の健康管理の推進

会員等の健康状況の把握するように努め、健康診断等の受診を推進します。健康に関する講座を実施します。

## 5. デジタル活用の推進

デジタル活用の推進については、社会全体のデジタル化が進められる中、デジタル活用に関する理解やスキルが十分でない高齢者に対し、デジタル化に対応するために、当センターでも講習会を4回／年開催し、高齢者のデジタル活用の支援を行います。

## 6. 福祉・家事援助サービス

### (1) 生活援助（ちょこっとお手伝い）サービスの実施

平成27年度より安来市の補助事業として実施を始めました。現在は独自事業として行っていますが、今後も拡充を図ります。

### (2) 介護・援助事業の取り組み

安来市が実施する介護予防事業に参画して、生活支援事業等の受託を目指します。

また、介護施設等との連携を図りシルバー派遣事業として取り組みます。

### (3) 安来市が実施する福祉事業に積極的に協力していきます。

### (4) 令和3年度から受注した放課後児童クラブの運営を継続して行います。

### (5) 島根県が推進する「産前・産後サポート事業」に協力していきます。

## 7. 地域就業機会創出・拡大事業

行政や関係団体等と連携して、雇用問題の解決、地域企業の活性化、地域社会経済の維持・発展等につながる事業として、シルバー喫茶やワンコイン弁当などが継続して提供できるよう場所の確保、会員の就業拡大と地域活性化を目指して取り組んでいきます。

## 8. 拠点施設の整備

拠点整備について、過去に市議会で可決承認されており、令和6年度末で特定費用準備資金の積立が終了するため、引き続き安来市に対して支援を要望していきます。

## 9. 事務局体制及び組織活動の充実

### (1) 全シ協、県連合会等と連携し、指導や助言を仰ぎ、適切な管理運営を推進します。

### (2) 理事会、専門部会において、責任分担を明確化し、情報の収集や調査研究・研修会を行

い、組織運営の充実を図ります。

(3) 会員の自主的運営により、質的向上と就業意識の向上に努め、組織の活性化を図ります。

#### 10. 独自事業の展開

(1) なかうみマラソン大会が終了し、平成 19 年度から実施している「カレーパン」の販売がなくなりました。今後は、「クッキング同好会」など会員の提案による事業をより広く展開していきます。

(2) 剪定くずをチップ・堆肥化したものを「おらのチップ」の名称で、土壌改良剤として販売しています。今後も生産量の増加、販売の拡大に努めます。

#### 11. 地域奉仕活動の実施

安来市においては、少子高齢化が急速に進展する中、高齢者の自助・自立、地域の高齢者同士の支え合いがますます重要になってきています。その中でボランティア活動等を通じてシルバー仲間が一堂に会し、共に汗を流している姿を地域の皆様に披露することは、他の高齢者に対して大いに刺激を与え、ひいては地域社会の活性化や環境美化の一助となるばかりか、市民の目にも地域の豊かさを実感してもらえらることと考え、引き続き地域奉仕活動の実施をします。

#### 12. 魅力あるシルバー事業の発信

(1) センターの会報「白鳥」を年 1 回の発行をします。

(2) 市広報や報道機関に対してシルバー事業に関する情報を提供します。